



第5章 わたしたち市民ができること

協働のまちづくりの根幹にあるのは市民です。市民一人ひとりが自分たちのまちに関心を持ち、小さなことでも自分ができることと考えて行動していくことから、協働のまちづくりの土壌が育まれていきます。

最後に「わたしたち市民はどんな役割を担っていくことが期待されているのか」を確認し、協働のまちづくりの扉を開きましょう。

(1) お互いを思いやり、たすけあう気持ちを持つ

豊明市の目指す「協働で創るしあわせ社会」は、市民一人ひとりが自分のことだけを考えるのではなく、お互いを大切に思い、価値観を認め合い、幸せを願いあい、助けあいの気持ちを持つことが基本になります。

(2) 社会的課題に自ら参画する

自分たちのまちに関心を持ち、小さなことでも自分ができることと考え、行動することを通して、社会的な課題やまちづくりに参画していくことが期待されています。

(3) 地縁組織に加入し、役割を担う

地域の住民としての責任を自覚し、住民自治組織としての区や町内会の役割をよく理解し、主体的に役割と責任を分かち合って参加することが必要です。

(4) 市民活動を理解し、参加する

市民の視点と参加により地域の課題を解決する市民活動団体への理解を高め、自分の関心や能力等を活かして自発的に参加したり、支援することが望まれます。

(5) 異なる人・組織と対話し協力する

単なる自己主張や一方的な押し付けに終わらず、共に地域をどのようにしていくのがよいかという視点から市民同士、或いは市民と行政とで話し合いを持ち、共に考え、力を出し合いながら問題解決をしていくことがますます重要になってきます。

一人ひとりの市民に、こうした「対話・協力」の心がけが定着することで、協働のまちづくりを豊明市で大きく育んでいくことができます。

みんなでまちづくりをすすめるためのみちしるべ(素案)

平成20年1月発行

豊明市

豊明市協働推進委員会

編集/豊明市役所市民協働課

〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1

電話 0562(92)8306
